

《参考：既製品の概要》

①緊急遠隔通報システム（中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社）

振動センサを搭載した突入検知センサ(写真4)をラバコーン等に取り付け、車両の誤進入等によって衝撃を感じた際に、発報し、可搬型受信機で受信し、サイレンとフラッシュランプで広範囲に作業員に対して危険を知らせるものです。



【写真4】 突入検知センサ



【図2】 概念図

②しらすんだー（中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社）

保安員が危険を察知した際に、安全旗に装備されている送信ボタン(写真5)の操作により発報させ、作業員のヘルメットに装着した受信機(写真6)にて、警報音とLEDライトで作業員に対して直接的に危険を知らせるものです。



【写真5】安全旗送信機と受信機



【写真6】受信機付ヘルメット

《両製品の比較》

名 称	特 長	これまでの課題	備考
緊急遠隔通報システム	・広範囲に危険を知らせることができる ・機械的に信号を送るため人為的なミスが無い	・路上に設置した受信機からの警告音、発光であるため作業状況によっては見逃す場合がある	通信可能距離 約 1,000m
しらすんだー	・受信機が作業員のヘルメットに装着されており危険信号を察知し易い ・目視にて監視しているため、遠方でも挙動の不自然な車両があれば危険信号を送ることが可能	・送信ボタンを人為的に押す必要があり、保安員の直近で進入車があった場合に送信ボタンを押せない場合がある(避難最優先)	通信可能距離 約 200m